

年間授業計画

教科:(保健体育)科目:(体) 対象:(第2学年 M1組～S組)

教科担当者:(M1組:印)(M2組:印)(E組:印)(A組:印)(S組:印)

単位数 2 教科書 高等学校『保健体育』第一学習社

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・剣道 剣道の歴史と構えの説明 剣道の考え方と心の在り方 今の剣道の構えと基本動作 ・ハンドボール パス、ドリブル、シュート サイド攻撃、ゲーム	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 ・剣道 剣道の精神・基本知識と基本技能の習得 個人の精神鍛錬と個人技能の向上 ・ハンドボール 基本に忠実にパスが出来たか。 個人技能を高めることが出来たか。	6
5月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・剣道 剣道の歴史と構えの説明 剣道の考え方と心の在り方 今の剣道の構えと基本動作 ・ハンドボール パス、ドリブル、シュート サイド攻撃、ゲーム	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 ・剣道 剣道の精神・基本知識と基本技能の習得 個人の精神鍛錬と個人技能の向上 ・ハンドボール 基本に忠実にパスが出来たか。 個人技能を高めることが出来たか。	6

	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
6 月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・剣道 剣道の歴史と構えの説明 剣道の考え方と心の在り方 今の剣道の構えと基本動作 ・ハンドボール パス、ドリブル、シュート サイド攻撃、ゲーム	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 ・剣道 剣道の精神・基本知識と基本技能の習得 個人の精神鍛錬と個人技能の向上 ・ハンドボール 基本に忠実にパスが出来たか。 個人技能を高めることが出来たか。	6
7 月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・水泳 種目バタフライ・背泳ぎ ビート板でのキック・手のかき方 息つきの方法	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 ・個人メドレーの各種泳法 3年時の個人メドレーを目標にホームの完成	5

	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
8月				
9月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に 行う。 ・水泳 種目バタフライ・背泳ぎ ビート板でのキック・手のかき方 息つきの方法 ・剣道 防具のつけての切り替えし、面・こ て・胴・突きの打突 自稽古、試合、審判法 ・サッカー ボールタッチ、リフティング、パ ス、 ドリブル、ヘディング、シュート 1対1の攻防、オフENSE、ディフェ ンス	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 ・個人メドレーの各種泳法 3年時の個人メドレーを目標に ホームの完成 ・剣道 審判法と同時に一本の取り方を学 び、審判をする技能の評価をする ・サッカー 個人技能を高めることができたか チームプレーとしてオフENSE・ ディフェンスができたか	8

	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
10月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・剣道 防具のつけての切り替えし、面・こて・胴・突きの打突 自稽古、試合、審判法 ・サッカー ボールタッチ、リフティング、パス、ドリブル、ヘディング、シュート 1対1の攻防、オフENSE、ディフェンス	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 ・剣道 審判法と同時に一本の取り方を学び、審判をする技能の評価をする ・サッカー 個人技能を高めることができたか チームプレーとしてオフENSE・ディフェンスができたか	6
11月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・剣道 防具のつけての切り替えし、面・こて・胴・突きの打突 自稽古、試合、審判法 ・サッカー ボールタッチ、リフティング、パス、ドリブル、ヘディング、シュート 1対1の攻防、オフENSE、ディフェンス	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 ・剣道 審判法と同時に一本の取り方を学び、審判をする技能の評価をする ・サッカー 個人技能を高めることができたか チームプレーとしてオフENSE・ディフェンスができたか	6

	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
12月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・剣道 防具のつけての切り替えし、面・こて・胴・突きの打突 自稽古、試合、審判法 ・総合球技 各種パス、ドリブル、シュート（右手、左手） リバウンドプレー、速攻、各種ディフェンス	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 ・剣道 審判法と同時に一本の取り方を学び、審判をする技能の評価をする ・総合球技 個人プレーとチームプレーを評価	6
1月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 持久走 12分走を3学期に10回目標に行う	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 持久走 記録の向上を目標に、基礎体力の向上と、自己強化による記録を評価する。	5

	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
2 月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・持久走 12分走を3学期に10回目標に行う ・バレーボール・バドミントン ・サッカー 基礎的種目練習後ゲームを行い、個人プレイの技術向上とチームプレイの重要性とたのしさを学ぶ	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 ・持久走 記録の向上を目標に、基礎体力の向上と、自己強化による記録を評価する。 ・バレーボール・バドミントン ・サッカー 自分との勝負とともに、チームの中での自分を向上させる。 チームでの協力が、スポーツをより楽しくすることを学び、悔しさと喜びがスポーツに大切なことを学ぶ。	5
3 月	・体づくり運動 腕立て伏せ、腹筋、背筋、スクワット等の筋力とレーニングを継続的に行う。 ・バレーボール・バドミントン ・サッカー 基礎的種目練習後ゲームを行い、個人プレイの技術向上とチームプレイの重要性とたのしさを学ぶ	体作り運動を基本に運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	評価は次の3点を総合的に判断する。 ①出席 ②態度・取り組み ③技術・技能、ルール等の理解度 ・バレーボール・バドミントン ・サッカー 自分との勝負とともに、チームの中での自分を向上させる。 チームでの協力が、スポーツをより楽しくすることを学び、悔しさと喜びがスポーツに大切なことを学ぶ。	5